

中学校

ネットによるいじめを防止しよう

○目標となる資質

思いやり・他者理解、思いや考えの表現力、規律性、道徳性

○指導のねらい

口頭による言葉と同様に、インターネット上の何気ない発言が友達を傷つけてしまうことを知り、それを防止しようとする気持ちや態度を育む

○準備するもの

パソコン、モニター（プロジェクター等）、ワークシート2枚×児童数

○教育課程、実施時期

特別活動

○留意点など

教員が事前にコミュニケーションアプリ（SNS）を体験しておくことが望ましい

展開例

	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	1 本時の目標を知り、学習の見通しを持つ ネットによるいじめを防止しよう	・ SNS について触れ、ネット上のいじめについて想起させる
展開 35分	2 スライドを見て、Aの気持ちを考えて発表する 3 一番酷いと感じる発言とその理由をグループで話し合い、発表する 4 グループをB～Fに分け、このいじめを防ぐには、担当の人物のどの発言をどう変えれば良いかを話し合い、発表する	・ Aの辛さに注目させる ・ 個人で考えさせてからグループで共有させ、発表させる ・ ワークシートを用いて協議させる ・ 「大会前」と「大会後」に分けて考えさせても良い ・ 具体的な言葉を考えさせる ・ 担当の人物の立場に立たせて真剣に取り組ませる
まとめ 10分	5 ネット上のいじめを防ぐために、自分にできることを考える 6 本時の振り返りをする	・ グループから出された意見をまとめた後、自分にできること等をワークシートに記入させる ・ 授業の感想を発表させてもよい

参考

○ 本授業の内容と導入について

本授業では、スマホのコミュニケーションアプリにある LINE、Twitter、Facebook などの SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）に焦点を当て、事例を用いて、SNS 上での会話の在り方を考えさせることをねらいとする。導入では、スマホの所持の有無や、SNS の利用状況などを生徒に聞きながら、それらが誰かを悲しませるためのツールにならないための学習であることを伝える。

○ 「スライドを見て、Aの気持ちを考えて発表する」について

付属のパワーポイント（ppt）資料を提示して行う。コミュニケーションアプリを使ったことがない生徒もいるので、どんなものを簡単に説明してから行う。事例は教師が随時解説を加えながら状況が把握しやすいように説明し、Aの辛い気持ちを共感させるようにする。その後、Aがどんな気持ちなのかをグループで協議させるが、その際、「そもそもAが放課後練習に来ないのが悪い」という発言が出てくるとも予想される。その時こそチャンスと捉え、「練習に来ないのは確かにAが悪いかもしれないが、だから無視されてもいいということになるだろうか」「そもそも大会前にB～FはAを邪魔者と感じており、その雰囲気はAが察したとしたなら、Aが練習に行きたくないと思うのはおかしいことなのだろうか」などと問いかけ、いじめに「きっかけ」はあったとしてもそれがいじめる「理由」にはならないことをしっかりと理解させたい。

○ 「一番酷いと感じる発言とその理由をグループで話し合い、発表する」について

Aの辛さを十分に共有した後、あらためてB～Fの発言に注目させることで、B～Fへの怒りを感じさせることを目的としている。

○ 「どの発言をどう変えれば良いかを話し合い、発表する」について

B～Fの登場人物をグループに振り分け、それぞれの担当人物のどの発言をどう変えればいじめは防げたかを考えさせる。できるだけ具体的な言葉を出させるようにし、そう考えた理由や、その発言をした後の会話はどうなっていくと思うかなども考えさせると良い。グループ毎に発表させ、会話に参加しているどの人物でもいじめを防ぐことはできそうだというところを感じさせる。

○ 「ネット上のいじめを防ぐために、自分にできることを考える」について

今後、SNS 等を利用していく上で、ネット上での会話をいじめに向かわせないために気をつけなければいけないこと、自分にできることを考えさせ、ワークシートに記入させる。何名かに発表させてみんなで共有しても良い。時間があれば、SNS やいじめに関する教員自身の体験談などを語ると良い。

備考

監修：兵庫県立大学 竹内 和雄 准教授

作成協力：兵庫県立大学ソーシャルメディア研究会

渡邊 匠・畑 杏奈・鈴木 留珠・松村 友慎・下木 なつみ

「ネットによるいじめを防止しよう」ワークシート

年 組 班

<大会前>

16:34 100%

グループ(5)

B 来週の球技大会勝てるかな～？

C どうやらな～

D 俺らのチームめっちゃ弱いから微妙(笑)

E たしかに、Aってかなり運動音痴よな！

F あいつ休んだら勝てるかもな笑

(1) 一番ひどいと感じる発言はどれですか。

発言 ○ 「 」

理由

<大会後>

19:54 100%

グループ(5)

B いやー勝ちたかったな

C 放課後にも練習したのにな

D やっぱ、Aがおるチームが足ひっぱたな

E しかもAは放課後練習でなくなかった？

F ほんまそれ

B まじうざいな

B 明日からA無視しようぜ

C 了解

D そやな

E おけ

担当人物

(2) Aを悲しませないためには、どの発言をどう変えればいいですか。

<もとの発言>

<こう変えれば！>

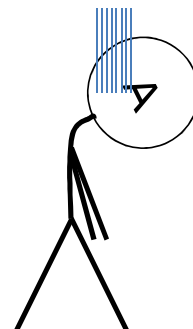
<理 由>

(3) いじめに向かわせないためには？

<気をつけなければならないこと>

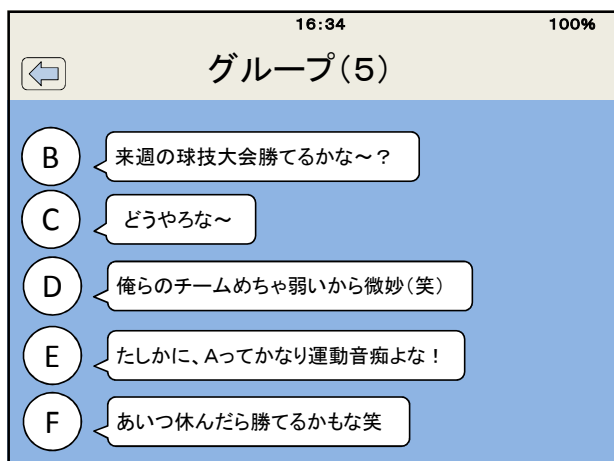
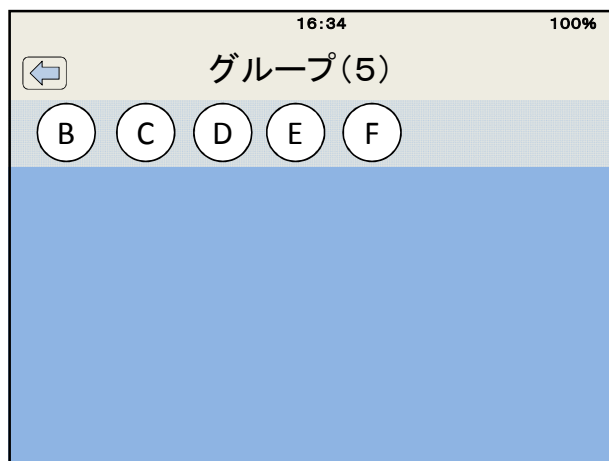
<自分にできること>

ネットいじめ



最近、A君は元気がありません

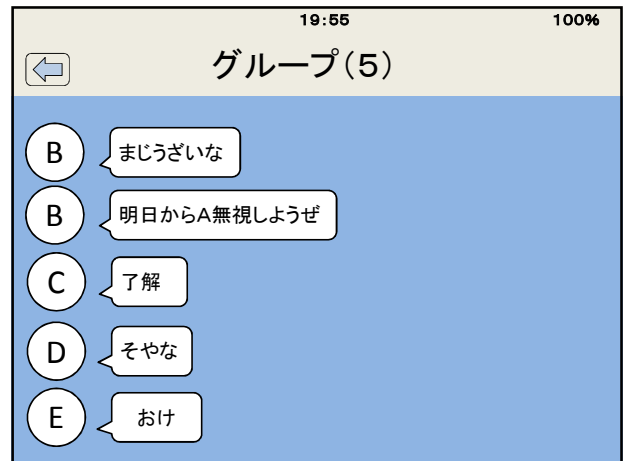
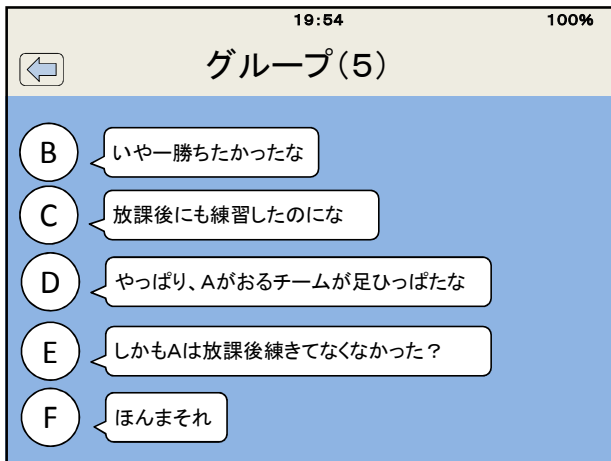
少し前の話



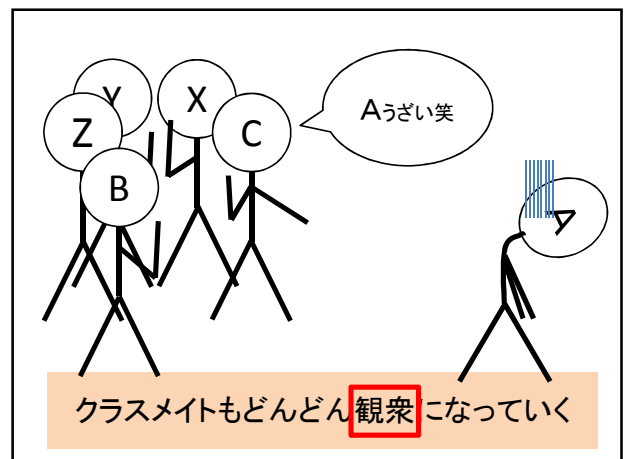
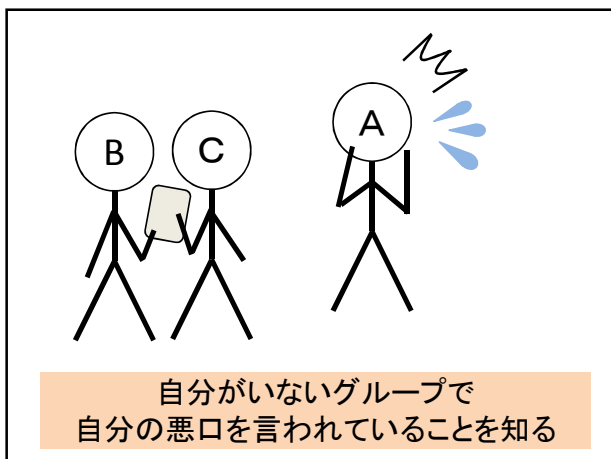
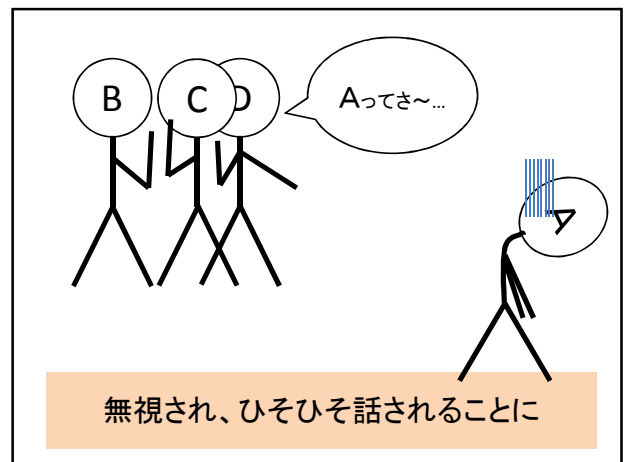
そんな会話の1週間後

球技大会は終わりました。

結果は残念ながら負けてしまいました



グループチャットでの
陰口がきっかけとなり、
Aのいじめがはじまりました

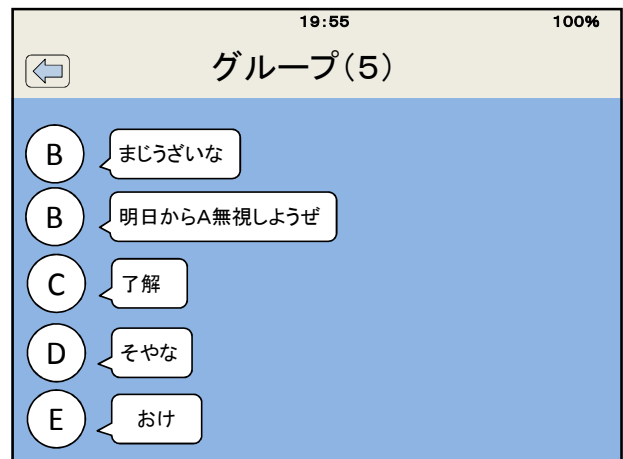
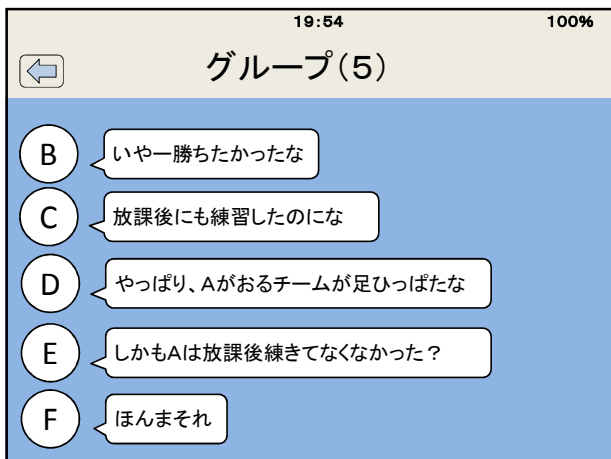
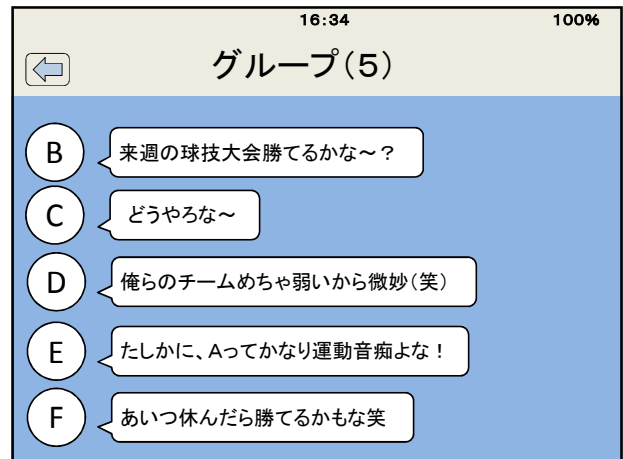


被害者 — いじめられている人

加害者 — いじめている人

観衆 — はやし立てたり、
面白がって見ている人

傍観者 — 見て見ぬふりの人



いじめのきっかけ

グループチャットの会話

どういう発言が
良くなかったのか？

どういう発言で
いじめを防げたのか？